

ラインセラピー療法

学科（縦ライン）

前回の続きで、中級編の内容になります。

少々話が難しくなりますので、今回は学科を優先し配信させていただきます。

理論を知るだけで整体法、エネルギー療法がとても効果ある調整法となりますので最後までご覧ください。

知ると知らないでは効果が雲泥の差となることを、今回のラインセラピーより学んで下さい。

覚えなくて大丈夫です。

何となくそうなのって感じで、見てだけでOKです。

前回からの続きになりますので、見ていない方は概要欄より御覧下さい。

整体編：<https://youtu.be/9dysuK5WPfY>

エネルギー療法編：<https://youtu.be/Dxs1o5PadtM>

氣功編：<https://youtu.be/ULVaRhZQNVk>

それでは、理論を説明します。

ラインセラピーは、私の抹消法の基盤となるゾーンセラピー理論とフラクタル理論の2つが秘伝のタレとなっています。

その秘伝のタレの壺に注ぎ足したのがラインセラピーで、私の抹消法が作られています。

抹消法も概要欄をご覧ください。

【抹消法】 https://youtu.be/vyIb9JaL1_A (動画 : 12分56秒)

これも秘伝のタレの融合した先人の知恵です。

前回フラクタル理論を説明させて頂きましたので、今回はゾーンセラピー理論をご説明します。

ゾーンセラピーの代表的な手法が、足裏を刺激して身体をケアする足裏療法というものです。

皆さんも馴染みの有る施術法ではないかと思います。

足裏療法の呼び名も様々、足裏マッサージ、リフレックスソロジー、官足法、若石健康法など、足裏を身体の部分に見立て調整する施術法です。

その他、手のひらを使った手のひら療法や耳を胎児に見立てた耳ツボ療法があります。

耳ツボダイエットなども以前流行りましたが、この理論になります。

今回は頭の縫合を使ったフラクタルでしたが、少しゾーンセラピーと似ていると思いませんか？

そのフラクタルとゾーンを融合しライン化した理論がラインセラピー療法です。

では、ラインとは何かを説明していきましょう。

ラインには縦ラインと横ラインがありますが、今回は縦ラインをお伝えします。

身体の筋肉の繊維は、洋服のように、一本の糸が編み込むように作られています。

その糸がクモの巣状に、身体中に張り巡らされています。

例えば図のように、腰に歪みが（痛み）あれば、その部位の筋肉繊維は低下します。

繊維は弾性作用がありゴム質のようなもので、その部分が低下すれば、繊維の延長線上（後頭骨や手足末端）にある縦のラインの筋肉に撻^{より}り（シコリ）が発生します。

その撻^{より}り（シコリ）を緩めることにより、腰が調整される手法がラインセラピー療法です。

歪の延長線上にラインを区分けしたのが、この図のようになります。

また繊維の歪みが起きる場所を臨床により体型化してありますので、参考にして下さい。こちらも概要欄で！

【参考資料ブログ：後頭骨療法】

<https://www.369maria.com/2022/02/03/%E4%BD%93%E3%81%AE%E6%B2%BB%E3%81%97%E6%96%B9%E6%95%99%E3%81%88%E3%81%BE%E3%81%99/>

今回は後頭骨調整と前回説明した頭蓋骨縫合の関連性を説明します。

後頭骨には

①最上項線

②上項線

③下項線

の3つのラインがあり、それを7つの縦ラインに分けます。

まず①の最上項線が頭蓋骨縫合のラムダ縫合になります。

前回のフラクタルを参照して下さい。

そして②の上項線と③の下項線は筋肉の深さにより現れる反応や位置が異なります。

筋肉は何層にも重なって出来ているので、深さの違いによって発生する場所が変わるのです。

そして、これも前回学んだ、冠状縫合に出る反応も縦のラインの歪によるものなのです。

縦のラインで撚り（シコリ）は、下項線・上項線・最上項線（ラムダ縫合）・冠状縫合・前頭縫合の5つの場所に歪は現れます。

調整法

今回の目的は、理論を知るコトにより、数倍にも効果が発揮されることを理解して下さい。

これが整体法のコツであり、奥義なのです。

そこからエネルギー療法に繋がるものです。

やり方は、以前お伝えした後頭骨療法ですので、上記のブログ後頭骨療法を参照下さい。

後頭部を緩めることにより、その刺激は縦のライン上に作用し、不調部位が調整されることが理解出来れば、更に効果有る調整法となります。

以上です。

次回は実技となります。

最後までご覧頂きありがとうございました。